

平成29年度 第5回宇都宮市総合計画審議会（全体会） 会議記録

■ 日 時 平成29年 11月 2日（木）午後1時15分～午後3時45分

■ 場 所 宇都宮市役所14大会議室

■ 出席者

1 委 員

荒牧委員, 生垣委員, 市村委員, 馬上委員, 小高委員, 片山委員, 金枝委員,
蟹江委員, 川上委員, 郷間委員, 小平委員, 小林委員, 小松崎委員, 坂本委員,
関口委員, 高橋委員, 田村委員, 網河委員, 中島委員, 福田委員, 藤原委員,
船津委員, 細谷委員, 三尾谷委員, 三宅委員, 山島委員, 横尾委員, 渡邊（弘）委員,
渡辺（博）委員
（五十音順）

2 事務局

総合政策部長, 政策審議室長, 政策審議室総合計画担当主幹, 政策審議室長補佐,
政策審議室係長, 政策審議室担当者

■ 会議経過

1 開会

会 長

- ・ 皆さんこんにちは。お忙しいところこれだけのメンバーが集まってくださり、ありがとうございます。分科会で様々な議論があったかと思いますが、その結果をまとめて全大会として議論を進めていただければと思います。よろしくお願い致します。

事務局

- ・ ありがとうございます。それでは、会議次第の議事を進めさせていただきたいと思っております。議事進行は会長にお願い致します。

2 議事

（1）第6次総合計画の全体構成及び将来のうつのみや像について

会 長

- ・ それでは、事務局より「（1）第6次総合計画の全体構成及び将来のうつのみや像について」説明をお願い致します。

事務局

- ・ 事務局より資料1、別紙1-1、別紙1-2を説明

会 長

- ・ どうもありがとうございました。将来のうつのみや像について説明がありましたが、これは第1分科会、第2分科会、第3分科会で議論した内容かと思います。突然で申し訳ないのですが、どんなことが議題になったか簡単に分科会の御報告をお願いいたします。
- ・ 第1分科会の会長は、本日欠席されておりますので、副分科会長から御報告をお願い致します。

委 員

- ・ 第1分科会の会長が本日欠席されておりますので、代理として報告いたします。本分科会では、健康・福祉、子育て・教育といった幅広いテーマの検討であったため、まっぴら御意見をお出し頂きました。
- ・ 特に福祉関係でしたり、どういう視点を大事にすべきかといった根本的な議論から、子育てに関しては結婚感でしたり、それに対峙する思考をどこにもっていくかというところが議論になりました。
- ・ また、文言の使い方や読み手の捉え方が変わることと、構成について重点プロジェクトとの関連性がよくわからないなどの意見があったところです。
- ・ 意見を踏まえ、修正したものを本日お持ちいただいたかと思います。

会 長

- ・ ありがとうございました。続きまして、第2分科会の会長である委員から御報告をお願い致します。

委 員

- ・ 第2分科会での主な検討内容として、序論に係る部分について1点あります。宇都宮市ならではの総合計画というところが、いまひとつ薄いので、宇都宮市ならではの総合計画となるよう、宇都宮市の特性を表現していただければよろしいのではないのでしょうか。
- ・ 序論の第3章では、人口や転入・転出についてデータが掲載されておりますが、宇都宮市の情報しか示されておられませんので、他都市と比較し相対化した方が宇都宮市の位置づけがわかると思います。例えば、焼却ごみ排出量や温室効果ガス排出量を掲載しているところなど、他都市と比較することで、宇都宮市の特性が表れるのではないのでしょうか。

会 長

- ・ ありがとうございました。続きまして、第3分科会の会長である委員から御報告をお願い致します。

渡辺（博）委員

- ・ 第3分科会では、市場の再整備について指摘されていました。
- ・ その他の検討事項については、事務局から提示されたとおりにかと思いましたが、ただし、今後想定される ICT の活用について産業界をメインとしておりましたが、産業界は行政が指導しなくても ICT の活用を進めるとは思います、学校等は行政が指導しなければという話がありました。ICT の活用については、これから話があると思いますが。
- ・ また、女性の視点も全体的に通ずる内容という意見がありました。

会 長

- ・ ありがとうございます。どの分科会でも、活発に議論がなされていたかと思えます。そのほか、他の分科会で議論された内容について御意見があればお願いしたいと思います。
- ・ なお、副会長と委員1名が所用のため14時頃退席されますので、お二人から全体の御意見・御感想等をお願い致します。

副会長

- ・ 先に意見を述べさせていただき、恐縮です。
- ・ 第5次総合計画策定時から関わらせて頂いております。宇都宮市の特徴の1つは、別紙1-1の20, 21ページの右の図に象徴されていると思います。今まで取り組まれていたことをいかに横断的にできるかだと思います。この6つの未来都市を連携することが一番の特徴だと思います。好循環プロジェクトについて、それぞれに横串が入るかと思いますが、本当に機能するのかが重要だと思います。
- ・ また、別紙1-1の23ページ「2 協働によるまちづくりの推進」が新たに加われました。連携による協働がキーワードになっていると思います。
- ・ 別紙1-2「将来のうつのみや像（都市像）」について、将来のイメージが非常にわかりやすくまとめられていると思います。ただし、「将来のうつのみや像（都市像）」案と「まちづくりの好循環」の関連性のイメージ図では、せっかく連携ということが強調されているのに、点線でさらに枠を作ってしまうと、連携しているイメージが薄れます。この3つの「わ」は、連携というより協働だと思いますので、図に表すのは難しいと思いますが、うまく表現できないでしょうか。少子化への対応から始まり、このようなことが描かれたので1歩も2歩も前進したと思います。
- ・ このあと説明があるかと思いますが、第5次総合計画では10のプロジェクトがありました。しかし、今回はテーマが3つに絞られたというのは、非常に画期的だと思います。これも、最終的に横串が入り、分野別計画が作られていくのですが、取り組みのテーマは文字が多すぎる印象を受けました。最終的には、市民が理解しやすいような文章や見せ方となるよう、さらに工夫するとより一層良いかなと思います。
- ・ 会長や委員の皆様にご協力いただいたことも含め、非常によくまとまっていると思います。

会 長

- ・ ありがとうございます。御意見としては、全体的な内容は良いが、イメージ図を工夫してほしいという御意見だったかと思います。果たして、御指摘いただいたように図の表現ができるのかどうかです。表現が難しい場合は近づける程度にして、事務局には次回はお持ちいただくことになるかと思います。

事務局

- ・ ありがとうございます。検討させていただきます。

会 長

- ・ ありがとうございます。続きまして、委員からお願い致します。

委 員

- ・ 副会長がお話された内容と、かぶる感想を持っております。将来のうつのみや像（都市像）の表現は素晴らしいと思います。3つの「わ」ということで、それぞれ異なる漢字を使っていますが、サークルという意味も含め「わ」をキーワードにし、市民にも親しみやすい身近なフレーズとして工夫していく必要があると思います。また、若い人にも向けたものである必要もあります。「わ」というキーワードが、自分の身近なものに繋がっていくような何かに展開できれば良いと思います。「わ」のイメージとして記述されている内容も良いと思いました。
- ・ 「将来のうつのみや像（都市像）」案と「まちづくりの好循環」の関連性のイメージ図について、円で繋がっており硬い印象になっていると御意見がありましたが、私は逆に循環を平面的に示しているように感じましたし、円がないと寂しいように思います。「わ」というキーワードと、まちづくりの好循環ということを示すのであれば、繋がっている方が良いと思います。ただし、もう少し柔らかく有機的に繋がっているというイメージの方が良いかと思います。テーマが硬いので、繋がり方だけは柔らかくして、工夫でカバーできるような気がしました。
- ・ 「好循環」という言葉ですが、今後の都市計画の流行になるのではないのでしょうか。現在、流行り言葉のように「持続可能」が、メディア、議会、経済界や観光書等でも使われています。「好循環」という言葉は、持続可能から好循環と変わった時に、何かが大きく変わるというよりかは、「持続可能」なまちを循環させていくといったステップが上がったという印象を受けます。この好循環ということが目標ならば、宇都宮市ならではの目標として明確に打出し、浸透するようなプロジェクトテーマになったら非常に良いと思います。
- ・ 別紙2-2の構成内容は良いと思いますので、具体的な計画構想の次にどうまとまっていくのか、楽しみになる雰囲気も見えています。「好循環プロジェクト」という名前で良いのではないのでしょうか。次の流行になるようになればと思います。
- ・ 全体を通して、現計画と比較すると、とてもわかりやすく人に近づいてきた計画になったと思います。

会 長

- ・ ありがとうございます。市民にとってわかりやすくすることが大事だ、という御意見です。
- ・ また、「好循環」について、「持続可能」という言葉は今の状態を維持するという言葉で、「好循環」はさらに良くなっていくという言葉ですね。先ほど、委員がおっしゃったように、好循環プロジェクトという名前を宇都宮市から発信すると非常に面白いことになりそうですね。事務局が良く考えたのだと思いますが、現在浸透している「住めば愉快だ宇都宮」というキャッチと同様に流行らせていければ良いのではないのでしょうか。
- ・ それでは、資料1で説明があった事項について、自由に御意見をお願い致します。

委 員

- ・ 別紙1-1序論の13ページに、全国平均気温の偏差について記述がありますが、1行目のところを「上昇しており、宇都宮市においては都市化の影響があり、2度以上の上昇が見られる」と追加することを提案いたします。宇都宮市の地球温暖化による気温上昇が全国平均を上回っているということは、非常に大切な指摘事項ですので、加筆することを提案いたします。

事務局

- ・ データ等を確認して、検討させていただきたいと思います。

会 長

- ・ 他にいかがでしょうか。御出席されている委員には、必ず一言以上は御発言をお願いしております。

委 員

- ・ 別紙1-1の16ページの基本構想（素案）の第3章2①について、6行の文章が全て一文で記述されており読みにくいので、文章をきると読みやすくなるのではないのでしょうか。少し工夫されてはいかがでしょうか。
- ・ 質問ですが、別紙1-1序論の11ページに、「栃木県とその周辺の主な被害地震」の図がありますが、赤い部分の表示は何を示しているのかわからないので、説明いただくとありがたいです。

事務局

- ・ わかりづらい図面で恐縮です。1755と1683という数字が入っているのですが、これが栃木県内で起きた大きな地震である今市地震など、断層地震の実態を示したものでございます。また、北から伸びている赤い線は、関谷断層を示しています。計画書冊子では読み取れるようなものに変えさせていただきます。

会 長

- ・ 文章についても御指摘がありました。

事務局

- ・ 長い文章が一文になっていて読みにくいという御指摘についてですが、文章をきれいなものはできるだけきり、意図が伝わるように工夫いたします。

会 長

- ・ わかりました。その他に御質問等がありますか。

委 員

- ・ 別紙1-1の序論に掲載されているグラフ等の表示年数がバラバラすぎる印象を受けましたので、出典によりますが、できる限り表示年数を整理していただければと思います。

事務局

- ・ 可能な範囲で、現時点で最新の統計データを掲載しています。2月までに、可能な限り最新のデータを揃えていきたいと考えております。ありがとうございます。

会 長

- ・ その他に御質問等がありますか。

委 員

- ・ 別紙1-1の19ページ第3章3⑥の1行目について、「二荒の森」という文章がありますが、「森」という漢字に馴染みがないのですが、これは意図的でしょうか。

事務局

- ・ 市民憲章で使用しているため、同じ表現といたしました。

委 員

- ・ そういうことですか。わかりました。

会 長

- ・ 市民憲章と同じ表現ということなので、問題ないかと思います。
- ・ 全体的な内容については、分科会や今までの全体会で議論してきましたので、今回新しくできた都市像について御意見頂ければと思います。
- ・ また、別紙1-1の22ページ、基本構想の第4章 将来のうつのみや像の実現に向けてのところが、今回新しく加わっていますので、読んでどう思うか議論いただきたいと思います。

委員

- ・ 非常に硬く作られています。将来像であればわくわくするような表現があってはどうか。
- ・ また、「将来のうつのみや像（都市像）」案と「まちづくりの好循環」の関連性のイメージ図について、宇都宮市の総合計画なのでわざわざ形を変えずに市章を使えばよろしいのではないのでしょうか。

事務局

- ・ ありがとうございます。実は前回まで四角にしておりましたが、徐々に市章に近づけ、六角形とし周囲を楕円で囲みました。市章と同じになることに問題ないと思いますが、どこまで近づけるか検討しております。
- ・ 初めにいただいた御意見について、言葉の硬さは自治基本条例の言葉等も使用しますので、どこまで柔らかくできるかというところです。言葉が硬すぎて市民の方に伝わらなければ意味がないので、さらに工夫いたします。

会長

- ・ ありがとうございます。その他、いかがでしょうか。

委員

- ・ 別紙1-1の10ページ、序論の宇都宮市の宿泊者数・外国人宿泊者数の推移について質問です。宿泊の目的については、調査しているのでしょうか。

事務局

- ・ どこまで調査項目があるかお調べさせてください。

会長

- ・ 宇都宮市における外国人宿泊者数について、アメリカ系が多く中国や台湾は少ないというデータがあったかと思います。

事務局

- ・ ビジネス目的で来訪される方が多いです。

会長

- ・ 観光目的ならもっと多い可能性があります。
- ・ ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

委員

- ・ 別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第4章将来のうつのみや像の実現に向けてについて、第5次総合計画といってもわからない内容となっており、時代背景が反映されていません。せっかく序論で一生懸命作った背景が入っていないのもったいないと思います。こういうことを盛り込むべきだと思います。

会長

- ・ 宇都宮市の自治基本条例等、様々な規定を踏まえて記述しているので、あまりわくわくするような文章ではありません。確かに、どの年次の計画でも書ける内容となってしまうのですが、どう表現すれば良いか市で考えるのは難しいので、アイデアをいただければと思います。

委員

- ・ 総合計画なので、文字として示すことは必要だと思いますし、使用する文言を間違えられないので条例等の文言を使用することになるかと思います。
- ・ 文章として掲載するのも良いですけど、交通未来都市の見せ方のように、市民が見て直感的にわかるような、挿絵を入れてはいかがでしょうか。第5次総合計画でもそうしていました。未来感が感じられるようなものや、こんなまちに変わっていくんだということが想像できるような挿絵が入ると、イメージが変わって良いと思います。
- ・ 文章は文章で作りこんで、挿絵を入れるなど検討されればよろしいかと思います。

事務局

- ・ 最初の御意見に補足説明をさせていただきます。別紙1-1の基本構想（素案）において、第3章では2050年時点の都市像を記述しており、第4章はその都市像に向かってどうするかスタートラインの話になっていますので、時系列的に役割が異なっています。
- ・ もう1点御指摘について、計画書の見せ方はどうやってわかりやすくするか、場合によってはマンガのようなものを挿絵として入れるなど、ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョンでも挿絵としてマンガを使用しておりましたので、現在検討している第6次総合計画でも挿絵を入れるなどの工夫をしたいと考えております。

会長

- ・ 先ほど委員から御指摘があった、第4章将来のうつのみや像の実現に向けての内容が、どこでもあてはまる内容となっていることについては、事務局から御説明があったとおりに思います。2050年の未来の都市像を実現するために、表現をわかりやすく工夫しては頂きたいと思います。
- ・ また、委員からの御指摘にもあったように、文章だけでなく挿絵を入れて、一緒に作っていくイメージを持たせるような計画としてはいただければと思います。ありがとうございました。

副会長

- ・ 別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第4章1 各主体の役割について、主体が「市民、団体、事業者、行政」の4つとなっていますが、協働や連携することを考えると「産・学・官」の連携を入れてはいかがでしょうか。近年、大学の役割が非常に高まっており、大学としてもどう地域に貢献するか課題となっています。例えばヨーロッパ等では、大学が中心となってまちづくりをしています。今までは「市民・事業者・行政」が主体となっていたのだが、「産・学・官」の連携を入れるとわかりやすく、計画に深みが出てくるのではないのでしょうか。大学がどこの主体に入っているかという点が見えないので、入れていくことを検討していただければと思います。

会長

- ・ ありがとうございます。市民、団体、事業者、行政に大学を並べて書くのは、並べづらいと思います。大学としても地域貢献の柱があり、宇都宮のまちづくりをどうしているかという話があります。宇都宮市と連携しているかと動きもあり、大学と一緒に取り組むという意向はありますが、表現の仕方が難しいです。この4つの主体に並べて大学を書くならば、議会も必要なのではないかという議論になりそうです。

事務局

- ・ 各主体のひとつに団体とありますが、非常に硬い言葉で地域活動団体や非営利活動団体と記述しておりますが、自治会、NPOなど事業者と書き分けられれば、大学を記載できるかと思いますので、記述を検討したいと思います。

会長

- ・ 表現が決まっているのならば、補足説明を加える方法もあります。その他にいかがでしょうか。

委員

- ・ 別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第4章1 各主体の役割の記述内容は、自治基本条例の条文をそのまま記載していると思います。この内容がどうというより、自治基本条例が宇都宮市の憲法だと思いますので、勝手に変えるわけにはいきませんので、わかりやすくすることは良いかと思います。自治基本条例こそが、他都市にない特徴だと思います。
- ・ 別紙2-1現状・時代潮流について、心配なのが、「安全・安心に対する要請」のところ地域コミュニティの希薄化があります。若者が電話線を引かない、新聞を取らない、また自治会に入らないという状況であり、どんどん地域の助け合いというものから離れていってしまいます。「地域コミュニティの希薄化」という言葉だけでは済まされない、何か救いの手や対策の検討が必要だと思います。例えば、別紙1-1の16ページ、基本構想（素案）第3章②では、互助の体制づくりが書かれていません。③では書かれていますが、③に書かれていれば良いというわけではなく、福祉の分野では自立と

互助が非常に大事です。地域のつながりがこれからの時代大切です。1個所にだけ記述されているのではなく、あっちこっち頻りに書かれていてほしいです。どこの都市でも難しいテーマだと思います。よろしくお願い致します。

会 長

- ・ 最初の御発言については、おっしゃるとおり自治基本条例の文言は変えられないので、補注等に具体的な中身や位置付けについて記述してはいかがでしょうか。

事務局

- ・ 御指摘がありました自立と互助については、非常に重要なテーマとなっておりますので、どこに入れるか検討してまいりたいと思います。また、安全・安心のところに記述しておりますが、安全・安心のところだけでなく、健康・福祉のところにもまたがっている内容だということを見せたいと思いますので、検討いたします。

会 長

- ・ ありがとうございます。続いて、委員からどうぞ。

委 員

- ・ 別紙1-1の19ページ、基本構想（素案）第3章3 まちづくりの基本方向④において、世代間交流について記述が入っていれば良いなと思います。
- ・ また、別紙1-1の22ページ、第4章1 各主体の役割の団体では、4つの主体について記述がありますが、市民のところ、家庭生活が重要だと考えます。基本が家庭ということであれば、市民のところに入るのではないのでしょうか。全体の枠で考えていただければと思います。
- ・ 団体については、先ほど自治基本条例の記述と揃えているというお話がありましたが、非営利活動団体の記述に、「他の公共的活動を先導し、協力しながら」とありますが、他団体との連携についても記述してはいかがでしょうか。
- ・ 事業者については、ワーク・ライフ・バランスについても記述していただければと思います。事業者の方々も家庭生活がありますので、そこを含め考えていただけると良いのかなと思います。

会 長

- ・ ありがとうございます。また、次回検討いただいた内容を確認いただければと思います。文章自体は、自由に変えるということではなく、補足するということで対応してはいかがでしょうか。

事務局

- ・ 別紙1-1の19ページ、基本構想(素案)第3章3 まちづくりの基本方向の②に、市民だけでなく団体も含めた記述がございます。

会長

- ・ その他に御質問等がありますか。

委員

- ・ 別紙2-1現状・時代潮流の「安全・安心に対する要請」について、自然災害を対象に記述しておりますが、最近では北朝鮮からミサイルが飛んでくるということで防災訓練が行われています。今後もありそうなことなので、何か盛り込めないのでしょうか。
- ・ 地域コミュニティの希薄化についてですが、自治会連合会として日頃から自治会の会員数を増加させようと取り組んでいます。自治会の会員数を上げようとしていますが、増えたと思ったら退会する会員がいるため、一向に増えません。こちらについても、様々な知恵をいただければありがたいと思いますので、よろしくお願い致します。

会長

- ・ 先ほどの北朝鮮の弾道ミサイルの件については、当計画の目指す将来像は2050年ですので、その頃にはJアラートは鳴っていないかと思いますが。また、こういった内容は表現しづらいと思います。ありがとうございます。

委員

- ・ 別紙1-1の4ページ、序論の第3章(1)少子化、超高齢化の進行、人口減少局面への突入について、宇都宮市の年齢別(5歳階級)人口の将来推計では今の子どもたちの寿命が100歳超えるといった状況は考慮して推計されていますか。

事務局

- ・ おっしゃるとおり、平均寿命がどんどん延びていっているのですが、今回の推計を行う際の仮定値としては考慮しておりません。今後、委員がおっしゃるとおり、想定よりも逆三角形の頭の部分が大きくなるかとは思いますが。

委員

- ・ 現代人は65歳まで働いて、その後寿命まで約20、30年働いた蓄えだけで生活できるのか不安です。先立つものだけでは生きていけないということでは困りますので、今後、考えていく必要があるかと思えます。
- ・ 宇都宮市は、餃子のまちとしてよく浜松と競っているのを拝見します。医師の立場から意見が1点あります。病気になっても大丈夫なような体制以外に、予防医学も実践していかなければならないのですが、栃木県の肥満患者数は全国3位です。これでは健康に繋がらないので、健康度を争っていただきたいと思えます。

- ・ また、地震もあるが宇都宮では水害について心配です。鬼怒川が決壊した際も心配になりました。地球が温暖化しており、宇都宮市辺りも亜熱帯化するかもしれませんが、宇都宮市の農地の割合が少なくなっている状況です。鬼怒川の上流で農地が少なくなっているため、水を貯めるところが非常に少なくなっています。さらに水が川に流れこんでくる可能性があるため、2050年を待たずに取組む必要があると思います。よろしくお願い致します。

委員

- ・ 別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第4章1 各主体の役割について意見です。先ほど御意見がありましたので、ここの文章表現は今後変わるかと思いますが。市民や団体にしろ、その人自体が幸せになってこそ、周りの方々に配慮できると思います。団体として生き生きと活動でき、それに加え周りの方へ配慮するというにすると、その人自体が幸せになることが大事だということが伝わって良いかと思います。
- ・ 「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや」というキャッチコピーについて、順番には何か理由があるのでしょうか。「つながるまちの環」と「魅力と夢の輪」は逆になるように思います。

事務局

- ・ キャッチコピーの言葉の順番については、絶対的な理由はありません。最初に人がくるかと思いますが、2番目に「つながるまちの環」として「安全・安心の未来都市」「交通の未来都市」を表現しており、3番目に「魅力と夢の輪」として「魅力創造・交流の未来都市」「産業・環境の未来都市」を表現しています。確かに「つながるまちの環」と「魅力と夢の輪」のどちらが先になっても問題ないかとは思いますが、感覚的な理由ですが、ロゴのリズムが良いのでこのような並びにしております。

会長

- ・ 並びについては、様々な人がいるため、感覚でしかないと思います。
- ・ 本日の会議の冒頭から議論していますが、自治基本条例の文言は変えずに、それぞれの主体が元気に活動し役割を果たすということを前文や後文に記述することや補注で入れる等の整理をしてはいかがでしょうか。いただいた意見を反映させる方法としては、文言自体は変えずに文言を補足する形式で記述してはどうでしょうか。次回の全体会で反映させたものが出てきて、議論させてもらえればと思います。
- ・ 資料2もありますが、発言する時間がなくなってしまっは困りますので、資料1について全員から御意見をいただきたいと思ひます。

委員

- ・ 別紙1-1の9ページ、序論第3章（2）の宇都宮市の農地面積（経営耕地面積）と農家戸数の推移について、農地面積がこの20年間で1割減少し、農家戸数は約3割減少したという事実があります。まちづくりの基本方針において、19ページの基本構想

(素案)第3章3⑤に、農家にとって夢と希望のある実現内容として謳っていただけると、農家の方々に良いのではないのでしょうか。

事務局

- ・ 産業とひとくくりにせず、農業、商業、工業に分けて書くように検討いたします。

委員

- ・ 今の御意見の関連で、農家なので意見を述べさせていただきます。産業として捉えるのか、別の捉え方なのか。基本的には、産業の中に農業も入ると思います。別紙1-1の9ページ、序論の第3章(2)の宇都宮市の産業別構成比の図について、NCC形成ビジョンの中で「郊外に広がる農地や森林などの自然環境との調和」と記述があるので、農業を打出していただければありがたいなと思います。
- ・ 人口比について、小学校の問題や、過疎化が進んでいるところなど様々な問題があります。人づくりの観点でいえば、学校教育の将来のあり方をどこかに入れていただければ、将来の人づくりに繋がると思います。

事務局

- ・ 学校教育の充実として、別紙1-1の18ページ、基本構想(素案)第3章3 まちづくりの基本方向①に入れております。
- ・ 農業については、農業の部分が全面に出てくるようあるべき姿というかたちで記載を検討いたします。

会長

- ・ 次回は基本計画が資料として用意されるのでしょうか。

事務局

- ・ 基本計画もお示しする予定です。

会長

- ・ 基本計画の中に分野別事業が出てきますので、農業についても入ってくると思います。

委員

- ・ 前回までは霞がかかっていた、方向性がわからなかったのですが、本日の説明で随分わかるようになってきました。
- ・ 第6次総合計画についても、第5次総合計画のような冊子になるわけですよね。その冊子は、どういった人たちが利用するのでしょうか。恐らく冊子は行政の羅針盤として庁内で使われるかと思いますが、市民や企業が冊子を全部読んで理解するのは難しいのではないのでしょうか。宇都宮市のまちづくりの方向性は決まっているので、表現の方

法について議論になるのだと思います。冊子をサマライズしたものが必要になると思います。宇都宮市がどういう方向に向かっているのか市民にもわかる表現で、1, 2ページ程度のものを市民に配布する必要があるのではないのでしょうか。レベルに応じたものが必要ではないでしょうか。

会 長

- ・ 第5次総合計画では、パンフレット版を全戸配布しています。今回もパンフレット版を作成することになるでしょう。

委 員

- ・ 当審議会の委員として途中から参加したのですが、特に問題があるところはないと思います。感想なのですが、交通の未来都市について、宇都宮市でもLRTの導入に取り組んでおりますので、LRTを是非進めていただきたいと思います。将来のうつつのみや像として、2050年を見据えているので、10年、20年後、車が脱炭素ということですし、報道でもありますようにだいぶ自動運転化ができてきているかと思います。自動車会社で次世代の技術について検討が進んでいるので、交通の未来都市について考えていただければと思います。
- ・ 「産・学・官」の連携をどこかに盛り込んでいただければ、ありがたいです。
- ・ コンパクトシティを形成する中で、農地が持っている農産物以外の機能について進めさせていただけるよう御検討いただければと思います。

会 長

- ・ ICTの活用については、将来どうなるのか予測できないので、書いてしまうことは難しいと思います。ただし、ICTの活用については、好循環プロジェクトの暮らしに関するところに含まれています。現時点で書けるところまでは記述をしていただければと思います。
- ・ 環境面での農業の役割という話だと思います。

事務局

- ・ 農地の保全というのは非常に重要な部分ですので、別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第3章5都市空間の姿において、「郊外に広がる農地や森林などの豊かな自然環境」に含んでおります。

会 長

- ・ はい。次の方どうぞ。

委 員

- ・ 印刷やデザインを検討する際に考えていただきたいのですが、行政が書かれる文章表現の方向は決まっているので、できるだけ硬いイメージにならないようせめてフォン

トやデザインを工夫していただければと思います。冊子やパンフレットを作成する際は、若い女性も検討メンバーに入れていただいて、柔らかいものとなるように工夫していただければ、多くの方の目に触れていただけるのではないかと思います。

会 長

- ・ 是非、本審議会の委員にもどうしたら読みたいものになるか、御意見をいただいております。どうか。

委 員

- ・ 別紙1-1の基本構想(素案)、22,23ページにある「協働」という文言について、当たり前のように使われていますが、「協働」の定義は何でしょうか。この「協働」という文言の捉え方がバラバラになっています。具体的な内容に入っていく際に、「協働」という言葉がどのように繋がっていくのか見たいです。宇都宮市が考える「協働」は、23ページの2(1)にある「互いに話し合い、助け合い」のところかもしれませんが、改めて「協働」が必要な理由や「協働」がないことで難しかったことが伝わるようにお示しいただければと思います。

会 長

- ・ ありがとうございます。委員、お願い致します。

委 員

- ・ 全体の印象として、現代をよく分析されていて非常に素晴らしいと思います。
- ・ 先ほどから議論になっている、別紙1-1の22ページ、基本構想(素案)第4章1各主体の役割ですが、自治基本条例をベースに記述しているので、文章が硬くなってしまふのは仕方がないと思います。
- ・ 第3章4 将来のうつのみや像について、将来像が6つになっていて良いのですが、内容がどこの都市にでもあてはまる内容になっていると感じました。
- ・ 全体の話でいうと、委員がおっしゃったように、宇都宮市の特性を出した方が良いので宇都宮市のエッセンスが入っていると良いと思います。

会 長

- ・ 宇都宮市の特性を計画書内で表現するといっても、具体的にどうするのか難しいため、委員から具体的な提案をお願いしたいのですが。

委 員

- ・ 意見を述べたので対案が必要かと思いましたが、なかなか出てきません。考え方としてあった方がよろしいかなと思いました。

会 長

- ・ マスコミの方が、こういう文章表現がお上手なのは。ありがとうございました。

委 員

- ・ 当審議会には本日で2回目の参加なのですが、2050年を見据えた計画で非常に素晴らしいと思います。
- ・ 別紙1-1の22ページ、基本構想（素案）第4章1 各主体の役割についてです。市民・団体・事業者・行政、それぞれが自分の利益を優先せずという前提のもと、協働となるのではないのでしょうか。産業や商業にしても、地場の産業や商業が発展することに力を入れなければ、特に商業はナショナルチェーン店や工場にしても大企業が進出してきてしまい、地盤が整いません。AIやIoTが入ってくると益々このような状況に陥ります。コンビニエンスストアがその最たるもので、地場産業を潰してしまっています。行政や商工会議所が地場産業を支援してくれなければ、30年後に幸せに過ごせません。かつて栃木県は米菓の産地であり、米菓工場の数が日本一番でした。宇都宮市は地場産業・地場観光に力を入れてはいかがでしょうか。宇都宮市が通過点になってしまうので、二荒山神社やオリオン通りに観光客の流れをもっていけるようにしてはいかがでしょうか。考慮していただければよろしいかと思えます。

会 長

- ・ 宇都宮市では、過去におせんべいの消費量が1位になっています。今の話しは商工会議所が宇都宮市と一緒に地場産業・地場観光に取り組んでいくことも考えられます。
- ・ 地場産業については、別紙1-1の序論で宇都宮市内の産業はみているので、次回分野別のところで詳細についてでてくるかと思えます。

委 員

- ・ ゆるキャラが全国で爆発的なブームでしたが、今は落ち着いてきていて、宇都宮にもミヤリーというゆるキャラがいて、安定した人気を保っています。実は、宇都宮市の上下水道局にも水道ぼうやというキャラクターがいます。例えば、くまもんのようにそのキャラクターを見ればとこの市町村かわかるよう、統一性が大事だと思います。そこでかつて上下水道局にミヤリーの水道版があれば誰が見てもわかって良いと話しましたが、上下水道局開設以来からあるキャラクターなので愛着があり、なかなか変えることは難しいという話がありました。要するに、視覚的要素やイメージがすごく大事だというお話です。市民の皆様にはわかっていただきたいので、こういう宇都宮市にしたいというメッセージを伝える必要があると思います。キャラクターを作れという話ではなく、長期的なビジョンを描いており、3つの「わ」がテーマなので、3つのリングを使ってトレードマークをつくってはいかがでしょう。オリンピックは5つのリングで、ドイツのオーディーが4つのリングで、宇都宮市代6次総合計画が3つのリングとといったような、市民やお子様が見ても、硬いものだと思われないようなものにしていた

できればという提案です。

会 長

- ・ ありがとうございます。次の委員、いかがでしょうか。

委 員

- ・ 別紙2-2好循環プロジェクト（案）について意見を述べたいと思いますので、資料2の説明後に発言いたします。

会 長

- ・ それでは、資料2の説明後に御発言をお願い致します。その他ありますでしょうか。

委 員

- ・ 第3次総合計画から委員として携わってきました。今回の計画はすっきりして、素晴らしい計画になってきたと思います。
- ・ 地域コミュニティの希薄化について、自治会への加入率100%を目指して勧誘しているが、加入率が年々下がっていき、手は打っているとお話がありましたが、私は手の打ち方が間違っていると思います。なぜ会員を辞めてしまうかということ、会員の皆様に得をさせておらず、お金がかかることばかりをさせているのではないのでしょうか。これは何とかしなければならぬと思います。日頃、自治会連合会の方々には御苦労をかけておりますが、自治会の会員数の増加に繋がっていきません。失礼ではあります、自治会会員を大事にするという考えで運営していけば良いのではないのでしょうか。このようなことをどこかに書いていただければ良いのではないのでしょうか。年々下がっている加入率をどこかで歯止めをかけなければ、地域コミュニティの希薄化に繋がります。

会 長

- ・ ありがとうございます。コミュニティの委員ということで御意見いただきましたが、自治会が重要だというのは共通認識であると思います。実現方法として様々あると思いますが、具体的な内容については分野別計画に出てくると思います。
- ・ それでは、ひと通り御意見をいただきましたので次の議題へ移ります。

(2) 好循環プロジェクトについて

会 長

- ・ 事務局より、資料2の説明をお願い致します。

事務局

- ・ 事務局より参考1、資料2、別紙2-1、別紙2-2を説明

会 長

- ・ 資料2の中身について、御質問などあればお願いいたします。

委 員

- ・ 別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト3『魅力と夢の輪「ブランド発掘・創造・発信」プロジェクト』について、ブランド力というのは極めて重要だと思いますが、そのなかでも行政が魅力を作るというより、市民それぞれが地域へのプライドを持つことがブランドに繋がっていくのではないのでしょうか。例えば仙台であれば、杜の都としてプライドを持っています。それがブランドの形成に繋がっていくのではないのでしょうか。
- ・ 取組のねらいは、記述しているとおりでと思いますが、大きな観点が抜けている気がします。冒頭でもお話しましたが、市民ひとり一人が宇都宮市民であるプライドをもつよう、第6次総合計画で表明していったはどうでしょうか。かつて、AERA with Babyという機関誌で、人口50万人の都市の中で子育てにやさしいまちランキング第2位が宇都宮でした。東洋経済の都市データパックでは、2013年から4年連続住みよさランキング第1位になっています。このようなことを市民に知っていただくことが、ブランドの形成に繋がるのではないのでしょうか。そういった観点での発想が大事になるのではないのでしょうか。
- ・ また、取組のねらいの文章中に「少子化をはじめとする人口減少の抑制に向けて」とありますが、違和感があります。

会 長

- ・ 私もいろんな地域に係らせていただく機会がありますが、他のところに比べ栃木県の人あまり地元自慢をしません。奥ゆかしくて良いと思いますが、自信を持つことも大事です。1つは今後、LRTが開通するので、全国から注目が集まります。また、大谷についても同様です。市内外から注目されるようなものを発信するべきです。
- ・ 他にいかがでしょうか。

委 員

- ・ 3つあります。まず、1つ目が別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト3の取組のねらいに「女性」に関する記述がないので、背景や取組テーマと整合性を図るために入れていただければと思います。

- ・ 2つ目は、別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト1の取組テーマ3つ目の記述が「自動車に頼らずに～」とありますが、公共交通自体も自動車なので、「自動車」ではなく「自家用車」のことだと思います。
- ・ 3つ目は、協議事項（1）でも御意見がありました。1文が長いのでシンプルにして頂きたいです。

会 長

- ・ 文章について、法文は10行ぐらいの中に目的が一つしか入っていないものです。ただし、市民が読んでもわかるように、条例の文意が変わらない範囲でわかりやすい表現にしていだければと思います。

事務局

- ・ 先ほども申し上げましたとおり、意味が変わらない範囲でなるべく文章の長さを短くしていきたいと思っています。

会 長

- ・ その他にありますでしょうか。

委 員

- ・ 文章の話がでましたが、できあがった総合計画の冊子は誰が見るのですか。市職員、市議員ですか。自治会が読むのですか。難しい言葉がたくさんあるので、欄外に注釈をつけなくてはわからないと思います。どの範囲まで総合計画が配布され、理解されることを望んでいるのでしょうか。

事務局

- ・ 全文を冊子として取りまとめるものと、加えて概要版を作成することになります。概要版は、小学生が見てもわかるように工夫しなければならないと考えております。また、表現を柔らかくすることを考えております。御指摘にありましたように、難しい用語には注釈をつけてわかりやすさを重視して作らなければ市民の方には伝わらないと思います。内部用の資料でわかりにくくて恐縮ですが、仕上げの際は工夫いたします。

委 員

- ・ 基本条例については、各家庭に計画の内容をマンガ化したものを7回くらい出したことがあります。内容の全てを出す必要はなく必要な部分だけ、自治会等を通して対象となるレベルに応じて出すものを変えていく必要があるのではないのでしょうか。

会 長

- ・ ありがとうございます。その他にありますでしょうか。

委員

- ・ 表現が気になったところがあります。別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト2において、ICTとIoTの両方が記載されており、確かに両者の意味は違うけれども、その違いをどれだけの人がわかるのでしょうか。将来的にはモノがインターネットで繋がって、IoTの基盤を整備していくという方向には必ずあるのですけれども、IoTをベースとしていくなれば、この程度のプロジェクトでは足りません。自動車等、いろいろなものから接続されていきますので、分野別計画ではこの程度のプロジェクトでは足りないという印象を受けました。ICTを整備する分野とIoTの基盤を整える分野を整理すれば、プロジェクトとしてもわかりやすくなると思います。何かお考えはありますか。でしょうか。

事務局

- ・ 見せ方について共通するものですが、各プロジェクトのシートの右上にイメージ図を掲載しております。
- ・ プロジェクト1ですと、地域包括ケアシステムが共生社会を創出し、ネットワーク型コンパクトシティとどう連携するのか、絵を使ってわかりやすさを高めていきたいと思えます。プロジェクト2のICTのところも現段階で関係性がわかるものを仮置きしています。
- ・ ただ、ICTとIoTの関係で、行政としてどこまで手を入れるか検討中でございます。大企業であれば、自らの力で導入していくかと思えますが、中小企業や農業分野については行政が関与していく必要があると考えていることから、行政が関与していく必要があるところから記載しています。また、様々な広がりがあるかと思えますが、現時点ではシェアリングエコノミーなどについては計上しておりません。市民サービスに近い内容からまずは計上しております。

会長

- ・ よろしいでしょうか。どうぞ。

委員

- ・ 委員と同じ意見ですが、別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト3において、女性の活躍について盛り込まれていることは喜ばしいのですが、かなり無理矢理な印象を受けました。まだ作成途中ではありますが、取組テーマの内容に「男女比で女性が少ないことや今後少子化が進むことへの対策として」とありますが、これは市として取組まなければならないから入れているような印象を受けました。政策の方向性としては喜ばしいのですが、当事者が違和感を覚えないような書き方にしてはいかがでしょうか。具体の記述内容が出てこず申し訳ないのですが、受取る側が前向きになれたり、その他の方が納得できるような記述としていただければと思います。

会 長

- ・ 御発言の意図としては、比率的に女性が少ないから活躍させるのでなくて、女性の活躍が社会を支えているのだというような、前向きな記述にしてほしいということでしょうか。

委 員

- ・ 「男女比で女性が少ないことや今後少子化が進むことへの対策として」の次に急に女性の活躍が出てきているような印象です。

会 長

- ・ 都市の魅力を高めるためには、女性が輝いてないと魅力的にならない。女性が少ないからということではなく、女性が輝ける都市が女性も男性も輝けると、前向きな内容に書いていってはどうでしょうか。

委 員

- ・ そうです。そのつもりで書かれているかと思いますが。

会 長

- ・ そこが見えないと。

委 員

- ・ そうです。

会 長

- ・ そのつもりで書かれていれば良いのですが、見えるようにと。

事務局

- ・ ありがとうございます。好循環というところで、宇都宮市ブランドを発掘して創造してさらに発信するだけでなく、それがリターンする流れができればと思います。取組テーマの1つ目【「大谷」、「LRT」、「自転車のまち」など地域資源のフル活用】は、魅力を発信するところが強く、交流人口を高めていく。2つ目の【宇都宮暮らしの魅力向上・発信による移住・定住の促進】は、行ったり来たりする話で、3つ目の【女性が活躍できる社会の構築】は、女性に来てもらうという視点で捉えています。女性が魅力的に働ける環境が整っていることで、さらなる女性の移住が望めるということだと考えています。

会 長

- ・ 足りないということではなくて、女性が魅力的に働いているから、他の都市から人が集まるといったところでしょうか。

- ・ その他にありますでしょうか。

委員

- ・ 別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト1の取組のねらいの冒頭に「高齢者・障がい者・子ども」とありますが、これでも良いのですが、見せ方として宇都宮市ならではとなるよう市外へのメッセージを出した方が良いのではないのでしょうか。例えば、子どもを先に示すとか。取組テーマの順番も、最初に高齢者を対象とした内容が記載されており、2番目に子どもの貧困について記載されているため、優先順位がなんとなく表れてしまっています。貧困の連鎖解消というテーマは非常に重要なのですが、せっかく好循環プロジェクトとして打ち出しているのに、前向きな見出しを出せないのでしょうか。誰もが意欲的に学べるようなちょっとした表現の違いだと思います。

会長

- ・ 先ほどの女性の話と同様に、前向きに書くということですかね。

事務局

- ・ プロジェクト1はセーフティネットの話なので、高齢者から記述した経緯がございませう。書き方は、検討させていただきます。

委員

- ・ 高齢者として意見を述べさせていただきます。国は高齢者を大事にしていないと感じますが、宇都宮市は暮らしやすさの観点から非常に大切にしてくれていて良い市だと思っています。

会長

- ・ いかがでしょうか。

委員

- ・ 別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト3について、質問です。宇都宮にずっと住み続けたい、訪れてみたい、将来住んでみたい、と思ってくれる人等の増加を目指し「宇都宮ブランド」の発掘・創造・発信を推進するとありますが、具体的にブランドとしてどのようなものを捉えているのですか。

委員

- ・ 宇都宮ブランド推進協議会の委員なので、回答させていただきます。宇都宮の魅力を特に東京圏の方に伝えたいと考えております。宇都宮市からどうしても若者が出て行くのはしょうがないと思いますが、その人たちが帰ってきてほしいです。餃子だ、自転車だ、といっても、東京圏の方は宇都宮市に目を向けてくれないので、宇都宮市での生活体験が必要だということで、二地域居住といったことも考えています。

- ・ 私が協議会の事務局へ投げかけていてまだ解決されていないのですが、宇都宮オンリーというところがないところですか。行政の投資が必要になってくるかと思います。例えば、国際会議を開催するにしても、様々な国の方が泊まれる施設を確保することや、東京になくて宇都宮にあるものといったものはありません。現在、3年計画で検討中です。よろしいでしょうか。

会 長

- ・ よろしいでしょうか。

委 員

- ・ そういったことも大事かと思いますが、住みたいと思ってもらうのも大事だと思います。例えば、医療が充実していることや自治会への加入率が高ければ、それは安全・安心に繋がって安心して子育てができます。それが大事だと思います。PTA 連合会に係っているので、関連したお話をします。都内だと PTA 加入率は 50%くらいだと思いますが、宇都宮市だと加入率は 99.9%です。これは学校としっかり連携しているおかげだと思います。生徒の学力を上げることや、教師の研修を行い育てていくシステムを構築していくことで、子育てするなら宇都宮市だということになり、人口増加に繋がると思います。こういったことがブランドとして大切なのではないのでしょうか。先ほど、自治会の加入率が低いとお話がありましたが、PTA の加入率が下がると本当にコミュニティは崩壊します。行政の方々が一緒に高みを目指せば、ブランドになると思います。

会 長

- ・ ありがとうございます。いろんな形で魅力を高めたいというのが、全員の願いです。

委 員

- ・ 別紙2-2好循環プロジェクトのプロジェクト3分野別計画の産業・環境についてです。LRT 沿線における低炭素化の促進とあり、これはこれで重要だと思いますが、言い古された言葉かもしれませんが省エネ・再エネの推進を入れていただき、市域全域に広がる内容を入れていただきたいと思います。

事務局

- ・ 省エネ・再エネについても、当然含まれていますので、見せ方は検討させていただきます。LRT 沿線だけではないという御意見でしたら、別途お示しする必要があると思います。

会 長

- ・ そろそろお時間ですので、もう一言御発言したいことがあればお願いいたします。
- ・ いただいた御意見を踏まえ、次回は基本計画が入った資料で議論したいと思います。
- ・ それでは、「その他」に移りたいと思います。

3 その他

会 長

- ・ 事務局より説明をお願い致します。

事務局

- ・ 3点ございます。机上に「追加配布資料 戦略事業（案）」を配布しておりますが、3つの分科会で御議論いただいた内容を踏まえて一部修正いたしましたので、御確認いただければと思います。次回は総合計画の基本計画（素案）について御議論いただくこととなりますので、御確認いただければと思います。資料の内容としては6つ政策の柱がございますので、その政策の柱ごと課題解決に向けた戦略事業を検討しております。
- ・ 2点目は、次回の第6回宇都宮市総合計画審議会（全体会）の会場についてです。会場は現在調整中でございますので、確定しましたらお知らせいたします。
- ・ 最後に、次回の日程ですが、12月1日（金）に開催したいと考えております。また、机上に「第6回宇都宮市総合計画審議会開催調査票」とありますので、本日出席の可否についてわかる方は恐縮ですが、御記入をお願い致します。なお、現時点で出席の可否についてわからない場合は、11月9日（木）までに FAX、メールまたはお電話等でお知らせください。よろしくお願い致します。

会 長

- ・ それでは議題が終了いたしました。ありがとうございました。

4 閉会

事務局

- ・ それでは以上をもちまして、第5回宇都宮市総合計画審議会（全体会）を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以上